

瀬山一英コレクション

平成31年
春の展示

平成三十一年一月八日（火）～三月二十二日（金）

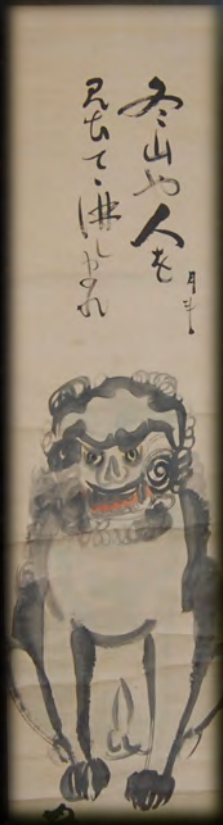
あおきげつと

（軸）万里春 月斗

青木月斗（月兔）展

あおきげつと

月を名に掲げた俳人



（軸）冬山や人を見出て淋しまれ 月斗

「獅子図」天岡均一画

大阪日本橋の獅子像を彫刻した天岡均一と合作

第11回「藤岡玉骨記念俳句大会」のお知らせ

日時 平成31年3月8日（金）11時～15時

会場 藤岡家 大広間

当日句締切 12時／参加費 2000円（昼食代を含む）

講演 「鳩（にお）の子」代表 柴田多鶴子氏

募集句 当季雑詠 2句1組 1000円（未発表に限る）

住所・氏名・俳号・電話番号・大会出席の有無を明記のこと

選者 茨木和生・上辻蒼人・瀬山一英・西谷剛周

森田純一郎・和田華凜・和田富子（50音順）

募集期間 30年12月15日～31年2月16日（消印有効）

現金書留または郵便小為替にて

送付先 うちの館・藤岡玉骨記念俳句大会事務局

主催 うちの館

後援 五條市・五條市議会・五條市教育委員会・五條

ロータリークラブ・五條市商工会・五條市観光協会・

奈良県俳句協会・奈良新聞社・奈良テレビ放送・毎日

新聞奈良支局・朝日新聞奈良総局・読売新聞奈良支局・

産経新聞社・奈良日日新聞社

協賛 俳句結社「かつらぎ」 俳句結社「諷詠」

登録有形文化財「藤岡家住宅」管理法人・NPO法人うちの館（やかた）

〒637・0016 奈良県五條市近内町 526 電話とファックス 0747（22）4013

9時～16時。月曜休館・月曜が祝日のときは開館して翌日休館

高校生以上 300円・小中学生 200円・20名様以上 2割引

「瀬山一英コレクション 青木月斗（あおき げつと）展」
～月を名前に掲げた俳人～

平成 31 年 1 月 8 日（火）～3 月 22 日（金）

登録有形文化財「藤岡家住宅」

月曜休館。月曜が祝日のときは開館して翌日休館。9 時～16 時。電話とファックス 0747 (22) 4013
info@uchinoon-yakata.com <http://www.uchimono-yakata.com>
高校生以上 300 円／小中学生 200 円 20 名様以上 2 割引 句会・お茶会・会議などにもご利用下さい。

青木月斗は、大阪船場の薬種商の次男に生まれ、12 歳で家業を継ぎました。小学生で、すでに漢学を漢方医から学び、ほかに英語、書、日本画などの教養を身につけていたといえます。母方の祖父が櫻井梅室門下の俳人であったために、幼い頃から俳句にも親しみました。俳誌「ホトトギス」に投句して子規に認められたことがきっかけとなり、明治 31 年（1899）年、「三日月会」を発足させています。これは、明治 29 年（1896）に発足した「満月会」から分かれたもので、「月」の名称はこの時代から使われていたようです。その後、子規門下の河東碧梧桐らと交流を持ち、松瀬青々（『倦鳥』主宰・明治 2 年～昭和 12 年）と並んで、大阪俳壇の草分けとして活動しました。なお、月斗という俳号は、明治 38 年（1905）から用いられたもので、明治 28 年から明治 37 年までは月兎という号を用いています。また、妹の茂枝は、碧梧桐と結婚し、月斗の三女御矢子を碧梧桐の養女にしました。御矢子は 15 歳で没し、後に、次男駿が碧梧桐の養子となります。与謝蕪村、正岡子規を深く敬愛して、正統派俳句の普及に務め、西山翠嶂ら関西の文化人たちとの深い交流を得て、関西文化の継承と発展に務めた人でした。子規が「俳諧の西の奉行や月の秋」と詠んだ句は、月斗を表す一句として有名です。藤岡家に月斗の資料は短冊「箭を下げて降りるや吉野山」が残されていますが、今回、奈良県俳句協会理事・瀬山一英氏のご協力を得て、月斗作品展を開催致します。貴重な直筆資料を藤岡家所蔵の関連資料と共にご高覧下さい。



青木月斗
『俳人青木月斗』（角川学芸出版 平成 21 年発行より）

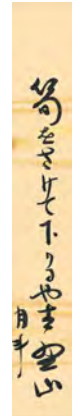
主な展示資料 掛け軸「冬山や人を見出て淋しまれ」（月斗句・天岡均一画）・「元旦の心古人に似たる哉」・「宝船朝の海の輝きに」・「古伊万里の錦手を見る麗かに」・「万里春」・「金の鈴銀の鈴降る河鹿哉」他／短冊「東宮にお継の宮や御代の春」・「たちまち雨たちまち晴れや今年竹」他

青木月斗（あおきげつと）略年譜

- 明治 28 年～37 年月兎。明治 38 年～月斗を俳号とする。
- 明治 12 年（1879）11 月 20 日。大阪市東区（現 中央区）船場に生まれる。本名は新護（しんご）。父新十郎、母マツの次男。家業は薬種商「青木薬房」。家伝薬に神薬快通丸。天眼水。
- 明治 19 年（1886）4 月。病弱のため 1 年遅れて小学校入学
- 明治 22 年（1889）父新十郎没。（月斗 11 歳）翌年家督相続（月斗 12 歳）。
- 明治 27 年（1894）小学校を卒業。大阪薬学校に入学（16 歳）。道修町に転居。
- 明治 28 年（1895）大阪薬学校を中退。家業を継ぐ。屋号「青木薬店」。俳号「月兎」を用いる。
- 明治 29 年（1896）4 月。大阪満月会発会。
- 明治 31 年（1898）大阪満月会から分かれて三日月会発足。
- 明治 32 年（1899）6 月。子規の病氣平癒を祈って春草庵にて運座。「車百合」創刊。子規より祝句「俳諧の西の奉行や月の秋」を贈られる。12 月初めて子規と会う。
- 明治 33 年（1900）8 月「車百合」休刊。10 月妹茂枝が河東碧梧桐と結婚。11 月米川貞と結婚。
- 明治 34 年（1901）2 月 20 日月兎宅で大阪満月会開催。
- 明治 35 年（1902）2 月長女千里誕生。命名は子規。8 月「車百合」2 巻 10 号「終刊号」9 月 19 日子規没。
- 明治 41 年（1908）11 月三女御矢子を碧梧桐の養女にする。
- 大正 5 年（1916）2 月月斗主宰「カラタチ」創刊。7 月「カラタチ」休刊。
- 大正 9 年（1920）4 月「同人」創刊、主宰、碧梧桐の養女になっていた御矢子 15 歳で没。
- 大正 11 年（1922）10 月次男・駿を碧梧桐の養子に。
- 大正 12 年（1923）7 月阿蘇登山。「同人」誌上の俳句を見て警察署が草千里の放火犯は月斗と新聞発表。
- 大正 14 年（1925）長男・月麿（子規の命名）14 歳で没。12 月貞と離婚。
- 昭和 12 年（1937）1 月 9 日松瀬青々没。2 月 1 日碧梧桐急逝（64 歳）。
- 昭和 16 年（1941）太平洋戦争勃発。
- 昭和 20 年（1945）奈良県 大宇陀に疎開。佐多山稻荷神社社務所に仮住まいする。
- 昭和 24 年（1949）月斗没。（71 歳）。

月斗が創刊した俳句誌

「車百合」（明治 32 年～明治 35 年）「カラタチ」（大正 5 年～大正 8 年）「同人」（大正 9 年～昭和 24 年）



（短冊箭をさげて下りるや吉野山 月斗）
藤岡家所蔵資料

登録有形文化財「藤岡家住宅」 管理人 NPO 法人うちの館（やかた）

月曜休館。月曜が祝日のときは開館して翌日休館。9 時～16 時。電話とファックス 0747 (22) 4013
info@uchinoon-yakata.com <http://www.uchimono-yakata.com>

高校生以上 300 円／小中学生 200 円 20 名様以上 2 割引 句会・お茶会・会議などにもご利用下さい。